

環境研究総合推進費令和7年度事後評価個票

研究課題番号	3MF-2204
研究課題名	海面処分場安定化と残留キレート分解に関する研究
研究実施期間	2022(令和4)年度～2024(令和6)年度
研究代表機関名	環境技術支援ネットワーク
研究代表者名	樋口 壮太郎

1. 評価結果

評価ランク：A

2. 委員の指摘及び提言概要

海面埋立処分場の水質の早期安定化に資する新しい技術として、余水・浸出水循環とキレート剤の分離電解についての開発研究を行い、実験室規模で有効な技術を開発提示した。本研究で獲得された基礎的な学術的知見は、今後の展開に向けてのベースとなるものとして評価できる。しかし実験室規模での実験と現実の処分場では規模が大きく異なるうえに、処分場では微生物の影響なども無視できないので、実用化までの道のりはまだ遠いように思える。現場で具体的にどのような問題がどのレベルで起こっているのかを再度精密に確認したうえで、エネルギー消費やコスト面についても検討しながら、民間企業との協同により社会実装をめざしていただきたい。研究成果を論文として発表することをお願いしたい。